



市民の会便り



ハートねっと日立市民の会 ～元気でねっと！～

(事務局) 日立市多賀町1-3-8 つどいの広場内 ☎ 0294-38-2555

あいさつ

朝晩はだいぶ涼しく感じられるようになってまいりましたが皆さまお変わりございませんか。秋の行事と言えば《運動会》や《遠足》を思い浮かべますが、私が子供の頃の運動会の格好は…。思い出ただけで笑ってしまいますが、「ブルマー」に「運動足袋」に「ハチマキ」。物は豊富ではなかったけれどあの頃がなぜか懐かしく思えるのはひょっとして歳のせい？ 時代と共に格好は変わっても元気な子供の笑顔はいつも大人を幸せにしてくれるものですよね。長引くコロナが収まり一日も早く不安のない日常が戻ってくれることを切に願うばかりです。

さて、11月12日(土)には茨城キリスト教大学の教室をお借りして「県北ブロック研修会」を開催します。市障害福祉課を通して10月5日号の【市報】に掲載していただき、社協さんを通して民生員の方たちにも声かけをお願いしましたので、たくさんの方に参加していただきたいと思っています。今回の研修会を通して精神障がいのある人への誤解をほんの少しでも解く機会になってもらえたら嬉しいなと思いますし、パネラーの方たちからもどんなお話が聞けるかとても楽しみにしています。JR大甕駅西口を出ると目の前が茨城キリスト教学園になっていますので、学園内の策を楽しみに参加していただくのもよいのではないのでしょうか。皆様のお越しをお待ちしています。

会長 弓野孝子



伝言板



「県北ブロック研修会開催」

7月22日に「令和4年度第1回県北ブロック研修会」が日立保健所で開催されました。日立やひたちなかの家族会、関係機関の方など合わせて36名の参加がありました。

まず始めにDVD「誰もが人生の主人公～子離れのススメ・親亡き後の準備～」を視聴しました。このDVDは昨年10月に開催された「みんなねっと東京大会」分科会4での模様を録画したもので、コロナ禍で大会に参加できなかった家族のために東京都精神保健福祉家族会連合会が制作したものです。親亡き後のことは親ならだれもが抱えている問題でありパネラーの方の言葉「一人一人が主人公である」「家族の幸せとは、つまり楽しく暮らすこと」「他人の力を借りる、つながりを持つこと」「必ず遺言を書くこと」に納得しました。

DVDを見た後は4～5人のグループに分かれて「親としての生き方」「日頃の悩み」などについて話し合いました。私達のグループの一人のお母さんが「子供は宝です」を繰り返し言ったことに、他の人たちも「本当にそうだ」大きくうなずき私も感動しました。最後にグループ毎に話し合ったことを発表しましたが、どのグループも時間が足りないくらい盛り上がっていましたので、これからもこのような機会を作ってもらいたいと思います。

焼きおにぎりより

「茨城キリスト教大学」で講師してきました！

6月24日(金)12:40～14:10に看護科学生3年生90名余に対して講師として5名が参加しました。今年で9年目になりますが、まだまだ不慣れで緊張します。ドキドキ…。まず始めにDVD[不安の正体]を視聴。その後家族の体験発表を3名が行いました。DVDで「視覚」、体験発表で「聴覚」と2つの感覚に合わせて訴えかけたのがよりリアルに感じ取ってもらえたのではないかと思います。そのためDVDの感想など多くの質問が積極的に出されました。さらに後日学生一人一人のA4サイズのレポート用紙で感想が送られてきました。その一部を紹介します。

- ・精神障害者に対する世間の目は厳しく根拠のない偏見がこんなにあるのか。
- ・精神障害者を温かく迎える社会になって欲しい。
- ・グループホームでお互い支え合いながら自分らしく生活することができることを知った。
- ・家族は様々であるが乗り越えるために多くの努力をしてきたことがわかった。
- ・家族会に入会することで同じ境遇や悩みを抱える者同士で話し合うことにより積極的に当事者と向き合う姿勢が素晴らしい。
- ・精神疾患について正しい知識を得て理解しようとすることも間接的には家族への支援につながるのでは。A4サイズにいっぱい書かれたレポートを読みながら実習に行った時またこれから就職したときなどに当事者のうしろ側には私達のような家族がいる事を忘れないでほしいなあと思いました。

ちむどんどんより

「千羽鶴」

千羽鶴は折り鶴を千羽作って糸で通したものを千羽鶴とし、「つるは千年」という言葉から縁起の良い数として千羽鶴になったと言われています。折り鶴や千羽鶴は長寿祈願、幸福祈願、災害祈願、病気快癒の意味が込められ平和のシンボルとして作られることが多いです。

8月26日に大原神経科病院へ千羽鶴を送りました。院長先生、事務長にご挨拶を交わし、つどいの広場で会員の皆様とお客様で1枚1枚心を込め、こつこつと丁寧に折って完成させたこととお話しました。院長先生から笑顔が見られ、「どこに飾りましょう?」と言っておられました。これからもサロンの時にみなさんと力を合わせて素敵な千羽鶴を作りたいと思います。

秋桜より



「夏の思い出」

熱中症警戒アラートが連日発表された今年の暑い夏。8月4日午前6時は前日とは打って変わって涼しい朝にNHK夏期巡回ラジオ体操が日立市運動公園陸上競技場で行われました。ハートねっとひたちからは代表6名が参加しました。テレビやラジオ等でお馴染みの多胡肇さんが司会を務められ、楽しいおしゃべりと体操の指導をされました。午前6時ごろからリハーサルをして6時30分ごろいよいよ本番。ラジオ体操の歌から始まって実況の緊張感も少しありつつ、体を動かしたので日頃の運動不足を解消できたのではないのでしょうか？

ピアノ伴奏された細貝終さんは祖父が日立市出身の方で子供の頃によく日立に遊びに来たという思い出話をされ日立市とのエピソードを披露して下さいて親近感を持ちました。参加者には帰る時にプレゼント(タオルやお茶等)が配られ、「早起きは三文の徳」かな?と喜んで帰路につきました。

夏パテのコオロギより



【精神保健福祉フォーラム in 水戸】

日時: 令和4年10月26日(水) 10:30~15:30 会場: ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール
※バザー(卓上用造花置物)、パフォーマンス(ラジオ体操)に参加


【サロン「ハートすまいる」】 ※火曜日実施

10/4 千羽鶴折 10/18 卓上用花の置物
11/1 千羽鶴折 11/15 歯とお口の健康(保健センターの出前講座)
12/6 千羽鶴折 12/20 クリスマスお楽しみ会 1/17 三味線と篠笛でお茶一服

【月例会】 ※金曜日実施

10/28 成年後見サポートセンター上松氏による出前講座 11/25 通常通り
12/23 年末でお休み 1/27 新年顔合わせ(詳細は次号で)

「障害者虐待防止法」改正に向けて

最近精神科病院内における患者への虐待が問題になっています。「障害者虐待防止法」では虐待を未然に防止するために障害者福祉施設従事者等による虐待を発見した者に対して市町村等へ速やかな通報義務を課していますが、 *tiqipig* 医療機関等においては治療行為と虐待行為を第三者が判断することは困難であるという理由で通報義務の対象になっていないのです。しかし、厚労省の報告によると令和元年度、通報義務に該当しない虐待の相談や通報件数は全国で357件にのぼったことで、精神科病院など医療機関においても障害者施設などと同等に虐待発見時の通報義務の対象とする必要があるとし、法改正を求める動きが全国的に広まっています。

では病院内における虐待はなぜ起こるのでしょうか？ 1956年今から64年前に政府が定めた「精神科特例」によって医師は一般病棟の1/3、看護師は2/3と少ない人員配置を定め民間精神科病院建設を推進しました。そして入院患者日当円(入院収入)も1/3に。このような条件では病院経営も難しく、人材確保や育成が困難なのだろうと推測されますが、最終的にその犠牲になっているのは精神障がいのある人やその家族になっていないのでしょうか。そして未だに世界中の精神科病床の20%は日本が占めている事を考えると、日本の精神科医療は本人の「回復」より「隔離」「収容」が目的になってはいないだろうか。など我々家族もこうした動きに注目しながらしっかりと声を上げていくことが大事と考えます。